

## 集 tsudoi



兵庫の建築  
Architecture of  
HYOGO

黒野神社本殿

### 黒野神社

兵庫県指定重要有形文化財(黒野神社本殿)

創建年 800年代 再建年 1765年 所在地 兵庫県美方郡香美町

今回は、七美郷の総社黒野神社を紹介します。

黒野神社は、村岡(旧黒野村)の鎮守の神、氏神社です。社伝によれば、橘諸兄公ゆかりの従三位参議黒野経秀興但馬に配流せられた大同年間(800年代)に創建と伝えられ、当初現社地背後の伊津岐山(通称宮山)山頂に鎮座していました。また、当神社は延長五年(927年)に作られた延喜式神名帳に記載された式内社です。鎌倉時代より神田を有し、室町時代となり、永享八年(1436年)に、当神社と同じく伊津岐山山頂に鎮座していた式内社の志都美(上・下)神社を合祀して、社殿を現在地に遷座しています。以後黒野神社はこの三座の御祭神をお祭りし、七美郷の総社として伊津岐三柱大明神とも仰がれて広く崇敬されてきました。拝殿前の三本の鈴の緒も御祭神が三柱であることを今に伝えています。嘉吉三年(1443年)には国指定重要文化財の「釈迦十六善神像」を既に所蔵していました。江戸時代に入り、村岡藩主山名矩豊公が黒野村を村岡と改称し、陣屋を構えられてより、歴代藩主の崇敬を受けて、延享元年(1744年)九月に一ノ鳥居を創建して参道を開き、明和二年(1765年)には、現在の本殿が再建されました。築地・石段も山名藩御家中並びに東西両町氏子の寄進により整備されています。その他、藩主の四時社参、ゆかりの品々の奉納の例が多く、村岡藩の祈願社として、当神社で村岡藩五ヶ庄の雨乞いの祭りも行われていました。明治以後は、明治六年郷社に列し、大正四年神饌幣帛料供進神社となり、大正一二年県社に昇格し、拝殿を新築して現在に至っています。また、本殿は明和二年(1765年)再建され、千鳥破風・軒唐破風付入母屋造、銅板葺。扇垂木や組み物、豊かな彫刻装飾が特色です。

我々、浜坂支部も46名の会員(34名の正会員)の会員と共に、楽しみながら地域に即した事業展開を実施しております。日頃ご迷惑をかけております家族には好評のジビエを使用した、会員交流事業も行っております。

また、伝統的建造物散策、まち歩きなど、会員皆さんで協力しながら活動が続けられたら幸いです。

文・写真：古家 学(浜坂支部長)

目次	P.1 兵庫の建築・黒野神社
	P.2 阪神・淡路大震災30年記念事業
	P.3 令和6年度 第二回見学会
	P.4 建築士試験の総括

#### メール配信と名簿のご案内

「集 tsudoi」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をしてください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。



■震災対応新時代へ 全国の地震災害から学んだ教訓の継承と発信



チラシ(表)



チラシ(裏)



次第

阪神淡路大震災後に発災した全国各地の大地震の経験を踏まえ、今建築士にとって震災対応として何ができるのか立ち止まって熟考する機会とし、この30年間に培った知見をもとに新たな対応へと進むための、研鑽、学びとなる事業を目的として開催しました。当日は、webでは全国各地から参加されるなど目標を上回る大勢の方のもとで、室崎先生の貴重な提言をいただき、パネルディスカッションにおいては、宮城・石川・熊本・兵庫4単位士会の皆さんに現地での震災の体験談やこれからの復興の思いを語っていただきました。この事業を通じて、兵庫県建築士会として、広く一般市民に社会貢献する姿を発信できたのではないかと思います。

■事業概要

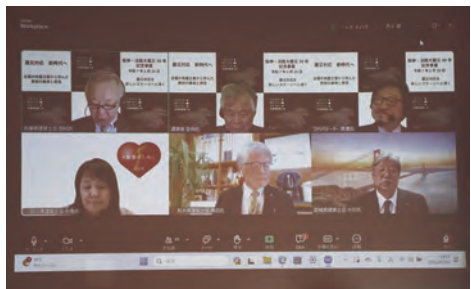
- 日 時: 令和7年1月25日(土) 13:30~17:20
- 会 場: こうべまちづくり会館 2Fホール
- 参加者: 会場49名 web 89名 計138名
- 主 催: 公益社団法人 兵庫県建築士会
- 後 援: 兵庫県 神戸市  
公益社団法人 日本建築士会連合会
- 第1部: 記念講演会  
阪神・淡路大震災30年~これまでとこれから  
講師 室崎 益輝 氏 神戸大学名誉教授
- 第2部: 記念フォーラム  
パネルディスカッション  
震災対応新時代へ ~全国の地震災害から学んだ教訓の継承と発信~  
パネリスト  
記念講演講師 室崎 益輝氏  
宮城県 小川 俊彦 氏(一般社団法人 宮城県建築士会 石巻支部長)  
石川県 矢尾 志津江 氏(一般社団法人 石川県建築士会 副会長)  
熊本県 廣田 清隆 氏(公益社団法人 熊本県建築士会 副会長)  
兵庫県 田村 嘉朗 氏(公益社団法人 兵庫県建築士会 副会長)  
ファシリテーター  
渡邊 一洋 氏 (公益社団法人 兵庫県建築士会 災害対策委員会委員長)



第1部 記念講演会風景



講師 室崎 益輝 氏



第2部 記念フォーラム パネルディスカッション風景



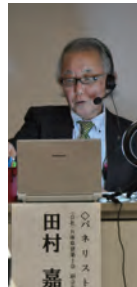
司会  
橋本 育子(副会長)



開会のことば  
正木 恵子(会長)



ファシリテーター  
渡邊 一洋  
(災害対策委員会委員長)



パネリスト  
田村 嘉朗(副会長)



閉会挨拶  
西嶋 直久(副会長)



当日ご協力いただいたスタッフ一同

文: 西嶋 直久 (震災30年記念事業実行委員会委員長) 写真: 石原 弘一 (姫路支部長)・阪口 晴彦 (企画情報委員長)

令和7年1月25日開催

## ■鳥取県 智頭町 石谷家住宅、倉吉市 白壁土蔵群、湯梨浜町 中国庭園 燕趙園

本年度第二回見学会では、日本古来の建築構法で建てられた石谷家、風情ある町並みが魅力の白壁土蔵群、そして中国河北省との友好提携シンボルとして建設された燕趙園と、実に様々なジャンルの建築物を見て回りました。

一同を乗せたバスがまず向かったのは広大な敷地を持つ石谷家です。こちらは四つの伝統構法の木組みという方法で建設された家になります。まず、石場建てという、東石の上に乗せる構法によって建てられています。地震の際に地面が揺れても緊結していないために建物だけが揺れを吸収し、受けるダメージが少なくなります。そして、木材を水平に貫通させくさびによって柱と貫を固定させる通し貫きという構法も用いられています。大きな揺れを伴う地震になると、筋交いは外れてしまったり、折れてしまったりすることがありますが、揺れのエネルギーを分散させ、建物におよぼすダメージを最小限にする効果があります。さらに釘は使用せず、込み栓という木製の栓を打ち込んであります。これにより、金具を使う場合よりも地震など外部の力が加わっても復元力が強くなっています。最後に、木舞と呼ばれる格子状の枠に土を塗り重ねた土壁でできています。防火や吸湿効果があり、土そのものは再生もできるため、様々な面で優れた素材です。南海トラフ巨大地震が危惧される現代、いま一度地震に強い建物の在り方を考える良い機会となりました。



石谷家前にて集合写真



倉吉市白壁土蔵群



燕趙園

そんな石谷家を名残惜しく後にし、次の行き先である白壁土蔵群に向かいました。こちらは白い壁の上半分は漆喰仕上げ、下半分は黒い焼き杉板の腰壁をつけている赤い石州瓦が特徴的な蔵のある街並みです。そして不思議なことに、見る場所や角度によって見え方が異なるのです。ある方向から見ると長屋のように見えるのにも関わらず、反対から見ると通常の建物が並んでいるわけです。

バスに戻ってからも、「このような造りにした意図はなんなのか?」「もし自分が設計するならどうするだろうか?」などと建築士ならではの会話で盛り上がっているうちに、最後の目的地である燕趙園に着きました。

燕趙園とは、日本最大級の本格的な中国庭園です。設計、資材調達、加工まで全て中国で行い、一度仮組みされた建物を解体して日本に運び、中国の職人が再度建設しています。皇帝を象徴する龍の彩画や美術工芸品など、普段目にすることがない芸術に触れることができ、新鮮な気持ちになりました。

限られた時間の中での見学会でしたが天候にも恵まれ、普段はあまり触れることのない建物を前に会話も弾み、とても充実した一日となりました。

## ■開催概要

- 日 時 : 令和6年11月4日(月)
- 見学行程 : 鳥取県智頭町 【国指定重要文化財 石谷家住宅】  
倉吉市 【伝統的建築群保存地区 白壁土蔵群】  
湯梨浜町 【日本最大級中国庭園 燕趙園】
- 参加費 : 士会員 3,000円 非会員 4,000円 子供(小学生以下) 2,000円
- 参加者 : 39名

文：澤尾 勝（北播磨支部） 写真：梶本泰彦（北播磨支部）

令和6年度の建築士試験の合格者発表が、昨年末にありました。全国と兵庫県の合格比率を整理した試験総括をお届けします。新たに建築士になられた方々に建築士会に入会頂ける様に広報したいと思います。

## 一級建築士

	全 国		兵 庫 県	
	学 科	製 図	学 科	製 図
実受験者数	28,067名	11,306名	1,019名	391名
合格者数	6,531名	3,010名	238名	117名
合格 率	23.3%	26.6%	23.4%	29.9%
総合合格率	8.8%		9.5%	

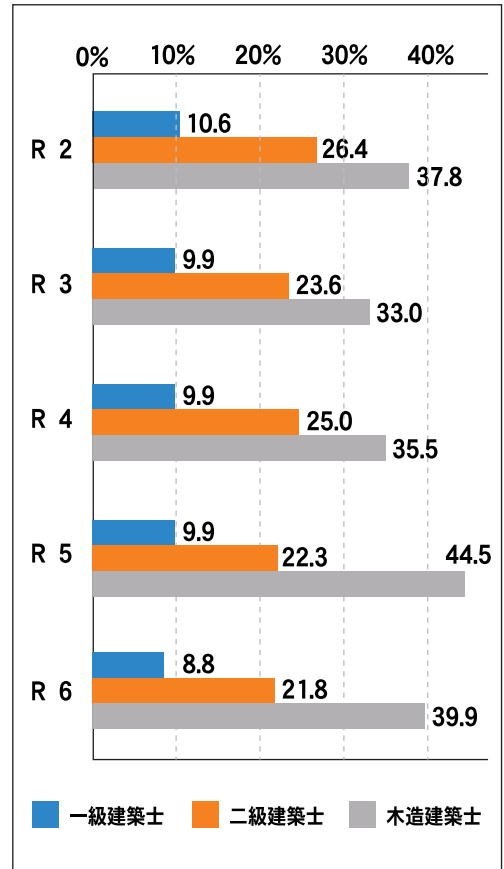
## 二級建築士

	全 国		兵 庫 県	
	学 科	製 図	学 科	製 図
実受験者数	17,602名	9,947名	616名	394名
合格者数	6,883名	4,680名	249名	198名
合格 率	39.1%	47.0%	40.4%	50.3%
総合合格率	21.8%		-	

## 木造建築士

	全 国		兵 庫 県	
	学 科	製 図	学 科	製 図
実受験者数	560名	342名	29名	15名
合格者数	321名	242名	15名	11名
合格 率	57.3%	70.8%	51.7%	73.3%
総合合格率	39.9%		-	

## 過去5年の合格率の変位



## 構造設計一級建築士

	令和6年	
	実受講者数 修了者数	修了率
申込区分Ⅰ (全科目受講)	588名	25.5%
	150名	
申込区分Ⅱ (法適合確認のみ受講)	29名	62.1%
	18名	
申込区分Ⅲ (構造設計のみ受講)	113名	38.9%
	44名	
講義の一部・修了検査免除者 (旧申込区分Ⅳ)	0名	-
	0名	
合 計	730名	29.0%
	212名	
	兵庫県修了者11名	

## 設備設計一級建築士

	令和6年	
	実受講者数 修了者数	修了率
申込区分1 (全科目受講)	142名	40.8%
	58名	
申込区分2 (法適合確認のみ受講)	14名	57.1%
	8名	
申込区分3 (設計製図のみ受講)	14名	78.6%
	11名	
申込区分4 (建築設備士)	129名	76.7%
	99名	
申込区分5 (全科目免除)	0名	-
	0名	
合 計	299名	58.9%
	176名	
兵庫県修了者7名		